

2023年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	生田 祐子
テーマ	《国際理解の道具としての英語》 × 私の未来 この授業では、英語を国際理解の道具として活用し、模擬国連を通じて実践的なコミュニケーションスキルを身につけます。具体的には、2023年度に改正された日本の出入国管理及び難民認定法（入管法）を参考にしながら、紛争地域の難民当事者や各国を代表する立場として、国際社会と難民の課題に取り組みます。みなさん自身が、英語を使って国際舞台で仕事をする模擬体験をします。
サブテキスト等	授業で参考文献を伝え、資料を配布します。
お勧め対象	1. NY 国連研修や英語模擬国連への参加を願っている学生。 2. 国際理解教育と英語教育のコラボに関心のある学生。 3. 留学や将来の進路のために英語力向上を願っている学生

担当者名	榎本 アンドリュー
テーマ	American Minority Studies provides a multidisciplinary analysis of the subordinate/dominant statuses of individuals and groups by recognizing the impact of race/ethnicity, gender, and socioeconomic class of individuals and groups in relationship to American society. Some topics covered are minority studies, intersectionality, African Americans, Asian Americans, LGBTQ, religious minorities, and women.
サブテキスト等	Students will be reading, watching, and listening to authentic English materials, which will be provided by the instructor. Excerpts from Racial and Ethnic Groups by Schaeffer will also be used. Students will explore various media outlets as well such as YouTube, Netflix, and TED talks.
お勧め対象	Students who are interested in American culture and taking a seminar conducted in English will greatly appreciate this class.

担当者名	金井 恵里可
テーマ	国際化する日本のなかの私 —現在、日本社会には多くの外国籍住民が暮らしています。私たちはどのように共生社会を創っていくのか、歴史と現状と事件と政策から考えます。
サブテキスト等	教材は授業内で配布または manaba に掲載します。参考文献『故郷の味は海をこえて—「難民」として日本に生きる』
お勧め対象	外国ルーツの人に限らず、マイノリティに対する差別や排除やいじめやハラスメントがなぜ起きるのか、人権とは何なのか、マイノリティが暮らしやすい社会は創れるのか、考えてみたい学生

担当者名	渡邊 三津子
テーマ	【景観写真から読み解く地域の歴史】 普段あまり意識しないかもしれませんが、写真（特に風景写真）には、撮影者が撮影したかった主な被写体だけでなく、雑多な被写体が写りこんでいます。写真に写りこむすべての被写体は、写真撮影時の景観を読み解くための重要な鍵となります。このゼミでは、古い写真や空中写真、地図等を判読し、身近な地域の景観変化を調べます。なおグループに分かれて、大学近くでのフィールドワークを予定しています。
サブテキスト等	授業中に適宜配布または manaba に掲載します
お勧め対象	写真が好きな人、自分が住んでいる地域の歴史や自然に興味がある人、街歩きが好きな人、社会科の教員を目指している人にお勧めです。

担当者名	北野 マグダ・レーナ
テーマ	How Are Languages Learned? In this seminar, students will consider the best ways to learn another language. Theories of language acquisition will be introduced, and students will hold their own experiments.
サブテキスト等	All materials will be provided in class.
お勧め対象	This seminar is appropriate for any student who is interested in languages, and useful for those who are interested in teaching. The report will be written in English, so students should be willing to challenge themselves in English writing and interested in improving their English writing skills.

2023年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	孫 美幸
テーマ	<p>【地域に広がる学びの場再発見！】</p> <p>学校だけが学びの場ではありません。美術館、博物館、図書館といった生涯学習施設から、地域のアートギャラリー、カフェ、食堂など、多様な場所があります。平和・公正・共生の社会に向けて、現在どのような学びの場があるのか、私たちが今後どのように創造できるのか、グループワークを通して一緒に考えてみましょう。</p> <p>地域の生涯学習センターへ訪問したり、親子向けの教育プログラムを実践している講師の方に来て頂いて体験する機会もあります。</p>
サブテキスト等	授業内で適宜資料を配布し、参考文献もお知らせします。
お勧め対象	地域の美術館、博物館、図書館、カフェや食堂などのイベントやプログラムに関心のある方、生涯学習や社会教育の視点から多様な人々が支え合う平和な社会づくりについて考えたい方を歓迎します。

担当者名	本浜 秀彦
テーマ	<p>「視覚文化」をキーワードとする本基礎ゼミの2023年度のテーマは「映画」。教養として映画を学び、ショートムービーめいた映像を制作します。映像で自分のメッセージや感性を伝えるために重要なのは、撮影や編集の技術以上に「雑学」（＝教養）です。例えば、映画やテレビドラマや演劇や写真を観る・小説や詩やマンガや新聞を読む・さまざまなジャンルの音楽を聴く、などなど。本ゼミでは受講生に映画に関する基礎知識と「雑学」を身につけてもらう一方、スマホで映像作品制作に取り組んでもらいます。また「撮られる側」にもまわってもらうので、基本的な演技の稽古も行います。</p>
サブテキスト等	特に教科書はなく、必要な資料は教場で適宜プリントを配布します（が、授業外で映画や演劇などを観てもらうためのチケット代などが発生するかもしれません）。
お勧め対象	映画や演劇、小説やアートが好きなお学生を歓迎します。ただ、作品制作のための撮影などは「時間管理」がカギになるので、欠席や遅刻には厳しく対処します。映画を観るとつい眠くなる人もお勧めしません。また水曜日の1限から、教室や体育館で身体を動かす演劇トレーニングを行ったり、キャンパス内を動画撮影のため動き回ったりするので、早起きが苦手・運動がおっくうな学生にとっては、本ゼミは“苦行”となるので心してください。以上、本ゼミの「トリセツ」まで。

担当者名	杉浦 功一
テーマ	<p>【映画で国際社会を理解する】</p> <p>古くより映画は国際社会の現象や問題を描いてきました。SF やアニメのように直接現実世界を描いていなくても、現実の問題を意識しているものも多くあります。本ゼミナールでは、映画を手がかりにして、国際社会の現象を理解し、諸問題を考えます。同時に、映画の発表を通じて、プレゼンテーションやディスカッションのスキルを養います。扱うテーマには、国際政治、貧困・格差、SDGs、戦争と平和、ジェンダー、子ども、難民・移民、人種差別、文化の変容、外国の政治・文化・歴史、日本における外国人、海外旅行などが考えられます。</p>
サブテキスト等	特に用いませんが、映画や類似の映像を見ることが出来る環境が必要になります。参考として、三上貴教編『映画で学ぶ国際関係』『映画で学ぶ国際関係Ⅱ』、法律文化社。
お勧め対象	映画が好きな人や、国際社会や外国、日本の国際化の問題に関心をもつ人